

平成29年度～平成33年度 社会福祉法人 八事福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 八事福祉会		法人番号	6180005002885				
法人代表者氏名	理事長 水谷 孝明							
法人の主たる所在地	愛知県名古屋市中区大坪二丁目801番地							
連絡先	052-834-3000							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	平成29年6月17日							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年6月22日							
評議員会の承認年月日	平成29年6月26日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	531,470	257,959	118,287	74,457	36,027	0		0
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		▲273,511	▲139,672	▲43,830	▲38,430	▲36,027	▲531,470	
本計画の対象期間	平成29年7月1日～平成34年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	既存事業の拡充	公益事業	既存	法人で運営している認知症カフェ事業の質・量ともに拡充するための施設を新たに建築し、より地域に開けた事業として定着及び発展を推し進める。	有り	225,000千円

	職員の処遇向上及び業務負担低減	社会福祉事業	既存	職員の処遇向上、意欲向上及び業務定着促進のため、職員の処遇を向上する。職員の業務負担を軽減させるためのITシステムや介護職員の身体的負担を軽減させるための介護ロボの導入を行う。	無し	43,011千円	
	経営労務改善事業	社会福祉事業	既存	専門家の協力を得ながら、経営労務改善に向けた検討、実行を行う。	無し	5,500千円	
	小計						273,511千円
2か年度目	既存事業の拡充	公益事業及び社会福祉事業	既存	法人事業の一部機能を新たな施設に移転するとともに、既存の特養の設備を拡充し、施設介護サービスの一環としてリハビリテーションサービスの提供を行う体制を整備する。	有り	10,042千円	
	職員の処遇向上及び業務負担低減	社会福祉事業	新規	職員の意欲向上及び業務定着促進のため、職員の処遇を向上する。職員の業務負担を軽減させるためのITシステムや介護職員の身体的負担を軽減させるための介護ロボの導入を行う。	有り	50,130千円	
	経営労務改善事業	社会福祉事業	既存	専門家の協力を得ながら、経営労務改善に向けた検討、実行を行う。	無し	5,500千円	
	既存事業の利便性向上	社会福祉事業	既存	新たに駐車場用地を取得、整備し、施設入居者の家族や地域住民、関係機関に対する既存施設の利便性を向上するもの。	有り	74,000千円	
	小計						139,672千円
3か年度目	既存事業の拡充	社会福祉事業	既存	施設介護サービスの質を向上させるため、より専門性の高いリハビリを実施させるための設備と人件費について手当てする。	有り	5,200千円	
	職員の処遇向上及び業務負担低減	社会福祉事業	新規	職員の意欲向上及び業務定着促進のため、職員の処遇を向上する。職員の業務負担を軽減させるためのITシステムや介護職員の身体的負担を軽減させるための介護ロボの導入を	有り	33,130千円	

				行う。			
	経営労務改善事業	社会福祉事業	既存	専門家の協力を得ながら、経営労務改善に向けた検討、実行を行う。	無し	5,500千円	
	小計						43,830千円
4か年度目	既存事業の拡充	社会福祉事業	既存	施設介護サービスの質を向上させるため、より専門性の高いリハビリを実施させるための設備と人件費について手当とする。	有り	5,200千円	
	職員の処遇向上及び業務負担低減	社会福祉事業	新規	職員の意欲向上及び業務定着促進のため、職員の処遇を向上する。職員の業務負担を軽減させるためのITシステムや介護職員の身体的負担を軽減させるための介護ロボの導入を行う。	有り	27,730千円	
	経営労務改善事業	社会福祉事業	既存	専門家の協力を得ながら、経営労務改善に向けた検討、実行を行う。	無し	5,500千円	
	小計						38,430千円
5か年度目	既存事業の拡充	社会福祉事業	既存	施設介護サービスの質を向上させるため、より専門性の高いリハビリを実施させるための設備と人件費について手当とする。	有り	5,200千円	
	職員の処遇向上及び業務負担低減	社会福祉事業	新規	職員の意欲向上及び業務定着促進のため、職員の処遇を向上する。職員の業務負担を軽減させるためのITシステムや介護職員の身体的負担を軽減させるための介護ロボの導入を行う。	有り	25,327千円	
	経営労務改善事業	社会福祉事業	既存	専門家の協力を得ながら、経営労務改善に向けた検討、実行を行う。	無し	5,500千円	
	小計						36,027千円
合計						531,470千円	

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	1 職員の状況を踏まえ、提供する介護サービスの質を維持向上させるために、職員の処遇向上、事務負担軽減、身体的負荷の低減を進めるとともに、ITシステムの導入や介護ロボの導入を図ることとした。 2 法人で運営している認知症カフェ事業の拡充を図るため、新規施設を建設し、法人機能移転と併せて、既存の施設介護サービスの質の向上を行うこととした。 3 法人事業の管理運営の適正化を維持向上するための事業を継続していく。 4 新たに駐車場用地を取得し、既存施設の利便性を向上する。
② 地域公益事業	①の取組を実施する結果、残額は生じないため実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組を実施する結果、残額は生じないため実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計	273,511	139,672	43,830	38,430	36,027	531,470	
	財源構成	社会福祉充実 残額	273,511	139,672	43,830	38,430	36,027	531,470
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員の処遇向上及び業務負担低減
主な対象者	当法人に在籍している施設介護職員、施設相談員をはじめとした職員
想定される対象者数	約 100 名
事業の実施地域	—
事業の実施時期	平成 29 年 7 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日

事業内容	職員の意欲向上及び業務定着促進のため、職員の処遇を向上する。職員の業務負担を軽減させるためのセキュリティ対策を含めたITシステムの導入、及び、介護職員の身体的負担を軽減させるための介護ロボの導入を行う。そのことにより、ご入居者に対し質の高いサービス提供を継続的に実施することができる。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	臨時手当の支給、ITシステムの導入開始、介護ロボの導入
	2か年度目	臨時手当の支給、ITシステムの導入完了、介護ロボの導入
	3か年度目	臨時手当の支給、介護ロボの導入・使用継続
	4か年度目	臨時手当の支給、介護ロボの導入・使用継続
	5か年度目	臨時手当の支給、介護ロボの導入・使用継続
事業費積算 (概算)	職員臨時手当：年間 10,000～30,000 千円程度 ITシステム導入：10,000 千円程度 介護ロボの導入：年間 15,000 千円程度 合計 179,328 千円	
	合計	179,328 千円（うち社会福祉充実残額充当額 179,328 千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	既存事業の拡充	
主な対象者	当法人が運営する施設入居者、近隣住民	
想定される対象者数	入居者 200 名、地域住民	
事業の実施地域	施設利用者、天白区大坪学区住民	
事業の実施時期	平成 29 年 8 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日	
事業内容	1 法人で運営している認知症カフェ事業の拡充のため、新たに施設を建築し、認知症カフェ事業の質と量（開催頻度）の向上を進める。 2 新たに建築した建物に、法人における相談支援事業の一部機能を移転する。そのことと併せて、施設介護サービスの向上のため、専門的なりハビリテーションサービスが提供できるよう既存施設の設備と人員を拡充していく。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	新規建物の新築開始（設計、入札、着工）
	2か年度目	新規設備の竣工。事業の拡充。相談事業機能移転。 既存施設の設備改修について設計を開始し着工。

	3か年度目	既存施設の設備改修完成。 リハビリ専門的人員を確保し、拡充サービスの開始。
	4か年度目	リハビリ専門的人員の確保。
	5か年度目	リハビリ専門的人員の確保。
事業費積算 (概算)	新規建物の新築諸費用：225,000千円（概算） 既存施設の改修諸費用：10,042千円（見込） 専門的人員に対する人件費に充当：15,600千円（見込）	
	合計	250,642千円（うち社会福祉充実残額充当額 250,642千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	認知症カフェ事業については、継続性を重視する。 認知症の方本人でも、家族でも、また近くの名城大学生などの若い世代の面々にも参加してもらえるよう、地域に根差した事業であってほしい。	

事業名	経営労務改善事業	
主な対象者	当法人に在籍している職員	
想定される対象者数	約150人	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年7月1日～平成34年3月31日	
事業内容	経営、労務に関する専門家の協力を得ながら、経営労務改善に向けた検討、実行を行う。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	契約に基づく経営労務改善事業の実施
	2か年度目	契約に基づく経営労務改善事業の実施
	3か年度目	契約に基づく経営労務改善事業の実施
	4か年度目	契約に基づく経営労務改善事業の実施
	5か年度目	契約に基づく経営労務改善事業の実施
事業費積算 (概算)	コンサルタント等との年間委託契約：5,500千円／年	
	合計	27,500千円（うち社会福祉充実残額充当額 27,500千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	既存事業の利便性向上	
主な対象者	当法人の運営する施設入居者家族、運営する事業関係機関、地域住民	
想定される対象者数	1年あたり約 10,000 人（1日約 20～30 人×365 日）	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成 29 年 7 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日	
事業内容	新たに駐車場用地を取得、整備し、施設入居者の家族や地域住民、関係機関に対する当法人の運営する既存施設の利便性を向上するもの。	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	調査
	2 か年度目	調査、交渉、見積り、取得
	3 か年度目	（予備年度）
	4 か年度目	（予備年度）
	5 か年度目	（予備年度）
事業費積算 （概算）	土地相場単価 約 59 万円／坪 × 約 120 m ² = 約 71,000 千円 舗装費用 = 約 3,000 千円	
	合計	74,000 千円（うち社会福祉充実残額充当額 74,000 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--